

ロシアに建機用鋼管の加工販売会社

油圧シヨベルの生産増大に対応

伊藤忠丸紅鉄鋼(MISSI)は7日、全額出資子会社で鋼管特約店のニッコー(千葉県浦安市美浜、中司龍夫社長)がロシア西部のトヴェリ州に建設機械用鋼管の販売・加工子会社を設立すると発表した。現地に進むインフラ整備やエネルギー・資源開発で建機向けの需要拡大が見込まれるため、2013年4月に営業を始める。MISSIにとっては「国内の事業会社が海外事業に直接かつ主体的に参画する初めてのケース」という。

新会社の社名は「ニッコートリユーラシア」で、ニッコーが50%、MISSI本体が25%をそれぞれ出資して設立する。また、高圧ホースや防振ゴムなどの製造販売を手掛ける東海ゴム工業(愛知県小牧市)が

20%、高圧配管を製造販売する木原製作所(茨城県常総市)が5%を出資する。投資額は明らかにしていない。

倉庫・加工拠点をモスクワの北西約170キロ、サントペテルブルクから南東に約570キロのトヴェリに開設。現地に進出した建機メーカーが生産する中型油圧シヨベル向けの需要に 대응する。炭素鋼鋼管やステンレス鋼管の販売・加工を手掛けるニッコーに加え、東海ゴム工業や木原製作所のノウハウも活用することで、建機に使われる構造用鋼管のほか、高圧ゴムホースや高圧配管についても顧客の用途に応じて加工・販売する。日本と同じ水準のきめ細かな在庫・鋼管加工などのサービスを提供し、グループとしての競争力を強化する考えだ。

母材については日本材を中心に仕入れる方針で、将来は品質やコストなどを勘案しながら海外材の比率を増やす可能性もある。